
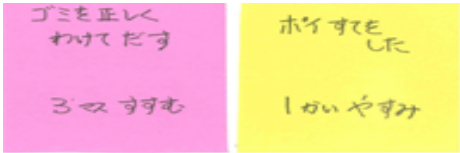


地球をすくえ～ごみ減量すごろくをつくろう～

■プログラムの概要

ねらい	持続可能な循環型社会をつくりあげるためにも、ごみをへらす（Reduce）、繰り返し使う（Reuse）、再資源化する（Recycle）が求められている。3Rに関するすごろくのマスを協力して考え、つくることで環境への見方や考え方を深める。		
キーワード	ごみ・資源		
対象	作成：小学3年生～6年生（1年生からでも可能） 遊び：幼児～		
時間	作業：120分 遊び・工夫：適宜	実施場所	屋内
使用するもの	台紙となる模造紙またはA3画用紙2枚（人数によって大きさを決める）、8cm角程度の色紙（3色程度）、のり、セロハンテープ、はさみ、マーカー各色		
全体の流れ	<ol style="list-style-type: none">1. 導入 ごみ問題、3R行動について知る2. グループで話し合い3. すごろくのマスをつくろう4. すごろく台をつくろう5. 完成したすごろくで遊ぼう		

■進め方

時間	学習内容	指導上の留意点
10分	<p>はじめにすごろく作りだと明示する。</p> <p><導入> ごみの環境問題について知ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみの問題や家や街で取り組んでいることで知っていることを話し合う。 ワークシートを活用し、3R について知る。 <p>Reduce：使う資源やごみの量を減らす Reuse：ものを繰り返し使う Recycle：使い終わったものを資源として再び利用すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> 3R まなびあいブック（環境省）を参考に、ごみ問題について考えさせるとよい。 身の回りのごみ問題についての視覚的資料（写真、ビデオ）で伝える方法も効果的。 <ul style="list-style-type: none"> ごみの分別・マイバックの活用 大量生産と大量消費 不法投棄・ポイ捨て・食べ残し 漂着ごみ、海ごみ問題 など
15分	<p><グループで話し合い></p> <ul style="list-style-type: none"> 取り組んでいる、取り組めそうな行動と取り組めていない反対行動を出し合う。 例：ごみを正しく分別する マイバックで買い物をする リサイクルに出す ポイ捨てをした ごみの分別をしなかった 各グループで出た行動を発表し合い、情報を交換する。 すごろくを作ることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> すごろくで遊んだ経験を出し合い、すごろくのイメージを持たせる。 参加する学年を考慮し、グループ分けを行う。リーダーを決め、話し合いを進める。3R の行動がでないようであれば、視点を教えてもよい。
15分	<p><すごろくのマスをつくろう></p> <ul style="list-style-type: none"> 8cm 角程度の色紙に取り組んでいる、取り組めそうな3R 行動と3R に取り組めていない反対行動を書く。 3R 行動の場合…進むマス数 反対行動の場合…もどる数、休みなど <p>*カードの色を決めておく（3色）。 取り組んでいる（青） 取り組めそうな（黄） 取り組めていない（ピンク）</p>	<ul style="list-style-type: none"> カードの見本を用意する。 一枚に一項目を記入。 色紙の上半分には、行動内容を書く。 下半分には、いくつ進むか、いくつ戻るかなどを書き入れる。 
40分	<p><すごろく台をつくろう></p> <ul style="list-style-type: none"> スタートとゴールの位置を決める。 スタートからゴールまでの道すじを書き、マスを入れていく。 道すじが決まったら、色紙を並べて貼る。 コマやサイコロの準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> グループで行動内容の枚数がどのくらいあるのかを確認し、バランスをとる。 並べるときに進むやもどるが続かないようにする。 カードがもらえるような工夫もよい。 コマやサイコロは自分たちで作ってもよい。

時間	学習内容	指導上の留意点
45分	<すごろくで遊ぼう> ・作ったすごろくで遊ぶ。 ・工夫、改善する。	・他のグループのすごろくでも遊べるようにする。
45分	<他のグループのすごろくで遊ぼう> ・他のグループと交流する。	・よい点を自分のグループに取り入れるようにする。

■使用するもの

物品名	数量	備考
色紙	各色一枚	3色用意し、グループの人数分（8cm角程度）
模造紙・A3画用紙	1～2枚	グループ分、人数に応じて台紙の大きさを工夫する
文房具	必要数	のり、はさみ、セロハンテープ
マーカー各色	グループ数	すごろくのマスをつくる
サイコロ	1～2個	手づくりでもよい
動かすコマ	人数分	手づくりでもよい

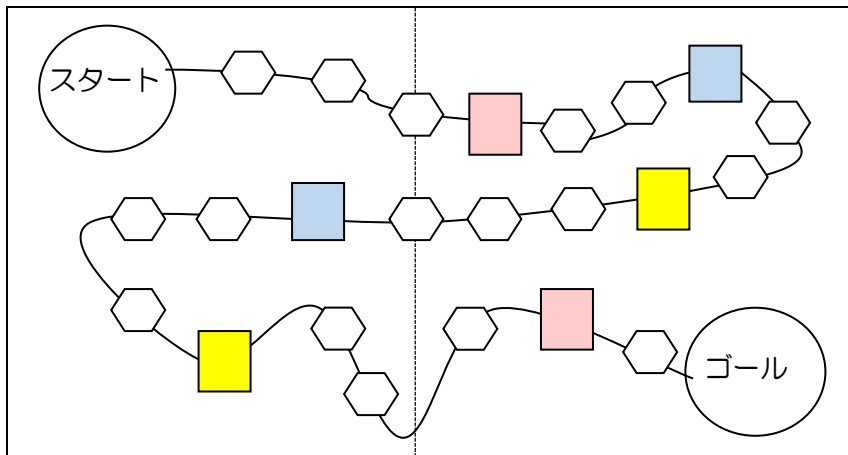
■実施にあたって留意する点

- ・学習と作業日と遊び、工夫する日を分けることもできる。
- ・低学年が主となる場合は、指導者と共に学習を進め、すごろくをつくるように配慮する。
- ・事前にごみ問題やその対応について、家や街の取組を調べておくとよい。
- ・指導者は、3Rまなびあいブック（環境省）冊子を参考に、押さえない内容を把握しておく。
- ・取り組んでいる、取り組めそうな3R行動と取り組めていない反対行動の内容は、参加する学年の構成によって差が出るため、考える視点を与える。

• 色紙カード記入例

<p>ごみを正しくわかる</p> <hr/> <p>3マスすすむ</p>	<p>レジぶくろを もらわなかった</p> <hr/> <p>2マスすすむ</p>	<p>ポイすてをした</p> <hr/> <p>ーかいやすみ</p>
--------------------------------------	---	------------------------------------

• すごろく台紙例（模造紙または A3 画用紙 2 枚つなぎ）



スタートを弱っている地球、ゴールを元気な地球の絵を描くようにすると、ゴールまでの道のりに工夫しやすくなる。

